研究課題名	HL7 FHIR 形式の医療情報から OMOP CDM 形式への変換検証
研究の意義・目的	現在、国が進めている「病院間で医療情報をスムーズに共有する仕組み（FHIR）」を、さらに「世界共通の研究用形式（OMOP）」へと効率よく変換できるかを検証します。この研究により、将来的には病院ごとにバラバラだった情報を安全にまとめることが可能になり、新しいお薬の開発や、病気の原因解明がこれまで以上に素早く正確に行えるようになります。また、医師が研究のためにデータを入力し直す手間を減らし、診療に専念できる環境作りにもつながります。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～　2027 年３月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2026 年５月までに大阪公立大学医学部附属病院を受診している方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 電子カルテシステム、データウェアハウス、FHIR リポジトリ等の病院情報システムに格納されている日常診療で取得する研究対象者の診療に関する病院診療情報（診療録）
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	この研究は、以下の体制で行います。 【研究責任者】公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科 臨床検査・医療情報医学　岡村 浩史 【共同研究機関・研究責任者】インターシステムズジャパン株式会社・古薗 知子 【委託先】公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院　臨床研究・イノベーション推進センター
個人情報の取り扱い	この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究は、インターシステムズジャパン株式会社との共同研究契約に基づき受け入れた研究費を使用し、インターシステムズジャパン株式会社が製造販売するソフトウェアの提供を受けシステムを構築し医療情報データの変換検証を実施します。インターシステムズジャパン株式会社に所属する研究者が本研究に参加しており、従事する内容はシステム構築、データの取得変換、及び検証作業です。
研究に協力をしたくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院　医療情報部 担当者氏名：岡村　浩史 電話番号：（０６）６６４５-３８８１